

# 文科省、24年“センター試験トラブル” 検証委を開催！

事前のシミュレーションなし。  
センター試験は受験生の立場に立った実施を！

旺文社 教育情報センター 24年2月

文科省は24年2月22日、多大な混乱を招き、社会的にも一大関心事となった24年センター試験のトラブル等を検証する「平成24年度大学入試センター試験に関する検証委員会」の第1回会合を開いた。

会合では、試験実施方法の大幅な変更等にもかかわらず、事前のシミュレーションが実施されなかったことが判明。委員からは、“リスクの想定”が甘かったのではないか、受験生の立場に立った意識が希薄なのではないか、などの意見が出された。

以下に、トラブルの概要、検証委員会の検討事項、今後のスケジュール等をまとめた。

- 1月に実施された24年センター試験(以下、セ試)では、「地歴」と「公民」の問題冊子の配付ミスが多発したり、英語リスニングの機器が必要個数会場に届いていなかったりして、過去最多の再試験受験者を出すなど、大きな混乱を招いた。

## ◆ 主なトラブル等

### <本試験:1/14・15>

- ◎ 試験場数：709会場／試験室数：9,843試験室／志願者数：555,537人／  
受験者数：526,182人(追試験・再試験を含む実受験者数は526,311人)

#### 1. 「地歴」「公民」における問題

・第1日目第1時限目に実施された「地歴」「公民」の試験において、開始時間の延長や試験問題の配付ミスが多発。

- ① 試験開始時間を10分以上繰り下げた会場：48会場、4,053人
- ② 2教科の問題冊子が配付されず、いずれか1冊のみの配付で試験を開始した会場：81会場、3,452人

#### 【②に対する対応】

- ・試験会場において、1科目の試験時間60分を確保するよう解答時間を調整。
- ・本人の予定と異なる科目を第1解答科目として提出していないか確認するとともに、そのような場合には、本人の意向を確認の上、第1解答科目に修正。

\* 第1解答科目の得点のみを合否判定に用いる大学(国立大では1校を除き全て、公立大では約半数)があるため。

・修正を希望した受験生：264人

・再試験(1/21・22)を希望する受験生には、再試験の機会を提供。

## 2. 英語リスニング(宮城県気仙沼高校会場)における問題

・第1日目最終科目「英語リスニング」(17:10～ )の機器が必要個数運び込まれていなかったため、試験開始が2時間遅延。

・影響を受けた受験生：202人

### <再試験:1/21・22>

◎ 試験場数：51会場／試験室数：51試験室／対象者数：3,876人／

受験希望者数：318人／受験者数：265人

#### 1. 「地歴」「公民」の問題冊子配付ミスに係る再試験の実施状況

・本試験で実施された「地歴」「公民」の試験において、試験問題の配付ミスがあった試験室在室者を対象(81会場、3,452人)に再試験の受験機会を提供(1/21)。

・受験希望者：48会場、243人

・受験者数：48会場、212人

#### 2. 英語リスニング

・再試験受験者：1人

\* なお、病気や負傷など個人の都合で本試験を受験できず、追試験(1/21・22)を受験した者は、英語リスニングの170人を含め、208人。

### ○ 検証委員会の構成

検証委員会のメンバーは、大学関係者、高校関係者、全国高等学校PTA連合会、弁護士など外部有識者7名、及び文科省側から森副大臣、城井政務官の2名。

委員会の座長は、岡本和夫・(独)大学評価・学位授与機構理事。

### ○ 検証委員会の検討事項

① 24年セ試において発生したトラブルについて

② (独)大学入試センターに設置された検証委員会からの報告内容について

③ 25年度以降のセ試における再発防止策について

④ 今後のセ試の在り方に関する課題の論点整理について

上記検討事項のうち、特に検討事項①の24年セ試トラブルに係る主な検討項目は、次のとおり。

#### 【問題冊子の配付ミス関係】

・(独)大学入試センターから大学への周知の状況

・各大学における学内への周知の状況

- ・試験監督者用のマニュアルの記載内容
- ・「地歴」と「公民」の2科目受験の実施方法全般
- ・「地歴」と「公民」の問題冊子が別冊であったことの影響
- ・大学関係者のセ試に対する意識、など

#### 【試験開始時間遅延関係】

- ・「地歴」と「公民」の2科目受験に係る説明内容
- ・不正行為に関する説明内容
- ・一つの試験室に、①「地歴」のみ、②「公民」のみ、③「地歴」と「公民」という3パターンの受験生が混在したことの影響
- ・試験室の収容人数との関係、など

#### 【その他、試験実施時の体制等】

- ・各大学内で複数会場を設けている場合の試験問題、試験用機材等の配送等の体制
- ・リスニングテストの実施方法等
- ・試験実施当日の各大学内における役割分担、人員配置等の状況
- ・課題発生時における大学と(独)大学入試センター間、各大学内及び(独)大学入試センター内の体制
- ・セ試における各大学と(独)大学入試センターとの関係、役割分担、責任の所在

#### ○ 今後のスケジュール

- ・高校・大学関係団体からのヒアリング、(独)大学入試センターにおける検証についてのヒアリング、及び検証報告等を踏まえ、24年4月下旬には当委員会としての検証結果と改善方策を取りまとめる予定。
- ・(独)大学入試センターにおける検証委員会(非公開)は2月3日に第1回会合を開催。  
現在、試験実施機関としての立場から検証を行っており、24年3月中に検証結果及び対応策等を取りまとめる予定。